

科目名	色彩概論 I	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 199a							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。							
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点	配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。							
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)	色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。 日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。							
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1~2	色の三属性 カラーカード分け							
3~4	色の三属性							
5~6	PCCS							
7~8	PCCS、色相環							
9~10	PCCSトーン							
11~12	色彩心理、グループワーク							
13~14	色彩心理、商品パッケージ分析							
15~16	光と色 眼の構造							
17~18	光と色 照明							
19~20	混色ワーク 混色例							
21~22	対比、同化							
23~24	配色、配色ワーク、3色配色 作品作成							
25~26	ファッションカラー、ファッションカラー配色 作品作成							
27~28	インテリア							
29~30	模擬試験							
成績評価方法								
(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。								
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。								
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。								
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○					20	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度			○				10	可、C (1) : 60点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	田村 絵里子			実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab			

科目名	色彩概論Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期			
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 199a							
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。							
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点	配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。							
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画 (全体)	色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。 日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。							
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1~2	色の三属性 カラーカード分け							
3~4	色の三属性							
5~6	PCCS							
7~8	PCCS、色相環							
9~10	PCCSトーン							
11~12	色彩心理、グループワーク							
13~14	色彩心理、商品パッケージ分析							
15~16	光と色 眼の構造							
17~18	光と色 照明							
19~20	混色ワーク 混色例							
21~22	対比、同化							
23~24	配色、配色ワーク、3色配色 作品作成							
25~26	ファッションカラー、ファッションカラー配色 作品作成							
27~28	インテリア							
29~30	模擬試験							
成績評価方法	(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。 (2)グループワークでまとめたレポートを発表。 (3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。 (4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S (4) : 90点以上
小テスト	◎	○					20	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート								良、B (2) : 70点以上
授業態度			○				10	可、C (1) : 60点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E (0) : 59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	田村 絵里子		実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab				

科目名	プレゼンテーション	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要(目的、目標とする資格・検定等)	新たなアイデアを生み出すことのみならず、それを他者に正しく・分かりやすく伝え、説得する・共感を得る能力が求められるようになっていく社会状況を鑑み、PBL等も含めた今後の様々な場面で活用できるプレゼンテーションスキルの向上をはかる。							
授業の一般目標	自らのアイデアや意見を他者に分かりやすく伝えられるようになる。プレゼンテーション用の資料作成ができるようになる。							
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	論理的で分かりやすいプレゼンテーションの仕方や資料作成ツールの使い方などの方法論や技術を身に付けられたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点	他者の視点に立った工夫ができたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	プレゼンテーションスキルの必要性を理解し、関心を持って臨んでいたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点	授業に積極的に参加できていたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できたか・分かりやすい資料を作成できたか							
授業計画(全体)	プレゼンテーションの仕方や資料作成の仕方について演習を通じて学習します。							
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録					
1~2	オリエンテーション・自己紹介							
3~4	プレゼン練習(質問を受けてみよう)							
5~6	プレゼンテーションとは・プレゼンテーションの構成							
7~8	canvaを使用した資料作成							
9~10	canvaを使用したプレゼンテーション(発表準備)							
11~12	canvaを使用したプレゼンテーション(発表)							
13~14	プレゼン①準備(構成)							
15~16	プレゼン①準備(資料作成)							
17~18	プレゼン①発表							
19~20	プレゼン②準備(構成)							
21~22	プレゼン②準備(資料作成)							
23~24	プレゼン②発表							
25~26	プレゼン③準備(構成)							
27~28	プレゼン③準備(資料作成)							
29~30	プレゼン③発表							
1 授業内で下記観点から評価を行う。								
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験					◎		20	秀、S(4):90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度			◎	◎			20	可、C(1):60点以上
発表・作品					◎		40	不可、E(0):59点未満
演習	◎	◎	○	○	○		20	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	吉田 昌乗		実務経験紹介	https://www.tansan.co/				

科目名	発想技法	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年生前期			
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要と 要(目的、目標と する資格・検定 等)	ソーシャルスキルを「社会生活に必要な、対人関係を円滑に築き維持するための技術(コツ)」と捉え、それを身に付ける演習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。／新たなアイデアを生み出すことの必要性を理解し、単なるひらめきで終わらずに「発想したものを実社会に落とし込む」ところまでをスキルとして体得する。							
授業の一般目標	感情をマネジメントでき他者とのコミュニケーションが支障なく取れるようになる。／アイデアを生み出すさまざまな方法論を演習を通して身に付ける							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	さまざまな場面でどう振る舞うかなどの方法論を身に付けられたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点	他者の視点に立った工夫ができたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ソーシャルスキル／発想技法の必要性を理解し、関心を持って臨んでいたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点	授業に積極的に参加できていたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 技能・表現の観点	授業ごとの目標に応じた表現ができたか・他者とのコミュニケーションが支障なく取れるか							
授業計画(全体)								
他者との接し方やさまざまな場面での振る舞い方などについて演習を通じて学習します。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等			授業の記録			
1~2	オリエンテーション・ss1:自己紹介							
3~4	ss2:質問をする							
5~6	ss3:感情を理解する							
7~8	ss4:冷静な議論をする							
9~10	ss5:自分の意見を伝える							
11~12	ss6:計画を立てる							
13~14	ss7:問題を解決する							
15~16	発想技法1:アイデアとは・アイデアの作り方							
17~18	発想技法2:発想法紹介①							
19~20	発想技法3:発想法紹介②							
21~22	発想技法4:発想法紹介③							
23~24	発想技法5:コンペ①							
25~26	発想技法6:コンペ②							
27~28	発想技法7:コンペ③							
29~30	発想技法8:コンペ④							
1 授業内で下記観点から評価を行う。								
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○			20	秀、S(4):90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B(2):70点以上
授業態度			◎	◎			40	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習	◎	◎	○	○	◎		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	吉田 昌乗		実務経験紹介	https://www.tansan.co/				

科目名	PBL I		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	60	開設期	1年生後期		
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。							
授業の一般目標	企業や団体・自治体との連携を通して現実社会での課題解決に貢献する。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力企業/団体の状況について正しく理解できたか							
<input checked="" type="checkbox"/> 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか							
<input checked="" type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか							
<input checked="" type="checkbox"/> 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか							
<input checked="" type="checkbox"/> 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力企業/団体の課題を解決できたか							
授業計画 (全体)								
アイデアの出し方、発表の仕方について演習を通じて学習します。								
授業計画 (授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1~4	オリエンテーション							
5~8	企業紹介							
9~12	リサーチ・着想・発案練習							
13~20	プロトタイプング・テスト練習 講評							
21~32	リサーチ・着想・発案							
33~36	中間発表①							
37~44	プロトタイプング・テスト①							
45~48	中間発表②							
49~56	プロトタイプング・テスト②							
57~60	最終成果発表							
1 授業内で下記観点から評価を行う。								
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○			20	秀、S (4) : 90点以上
小テスト							評価なし	優、A (3) : 80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B (2) : 70点以上
授業態度			◎	◎			20	可、C (1) : 60点以上
発表・作品					◎		20	不可、E (0) : 59点未満
演習	◎	◎	○	○	○		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	吉田 昌乗			実務経験紹介	https://www.tansan.co/			